（別紙様式例第１号）

営農型太陽光発電設備の下部の農地における営農計画書

作成年月日　　2026 年　9 月　4 日

営農者　氏名　株式会社アグロエコロジー
代表取締役　阿久津　昌弘
住所　栃木県芳賀郡芳賀町大字西高橋 700 番

設置者　氏名　株式会社クボタ
代表取締役社長　花田　晋吾
住所　大阪府大阪市北区大深町 5 番 54 号
グラングリーン大阪南館パークタワー

土　地　所在・地番　日光市塩野室町字大木川 1614-2

１．　営農型太陽光発電設備の下部の農地及び営農者の概要

(1) 営農型太陽光発電設備の下部の農地の概要

	地目	面積（㎡）
営農型太陽光発電設備の下部の農地	畑	3,887
合計		3,887

（記載要領）
- 地目には、田、畑、樹園地のいずれかを記入してください。
- 営農型太陽光発電設備の下部の農地の面積は、当該設備の存する区画全体の面積を記入してください。

(2) 下部の農地の営農者の概要

① 営農者の属性

営農者の属性	該当（○）
ア　効率的かつ安定的な農業経営（※１）	
イ　認定農業者（※２）	○
ウ　認定新規就農者（※３）	
エ　将来法人化にして認定農業者になることが見込まれる集落営農	
オ　アからエまで以外の者	

※１　主たる従事者が他産業従事者と同等の年間労働時間で地域における他産業従事者とそん色ない水準の生涯所得を確保し得る経営
※２　農業経営基盤強化促進法（昭和 55 年法律第 65 号）第 12 条第 1 項に規定する農業経営改善計画の認定を受けた者
※３　農業経営基盤強化促進法第 14 条の４第１項に規定する青年等就農計画の認定を受けた者
※４　アからエまでに該当する場合は、当該属性を証明する資料を添付すること

② 営農者の農作業経験等の状況

農作業経験等 （農作業歴）	左のうち作付予定作物の農作業歴
菅谷　英位（40 年）	麦：7 年
鬼澤　武寿（7 年）	麦：7 年

（記載要領）
- 「農作業経験等（農作業歴）」及び「左のうち作付予定作物の農作業歴」については、農作業歴がある場合にはその作付作物と年数を記載してください。また、農作業歴がない場合には、「なし」と記載ください。

２．栽培計画

(1) 下部の農地における作付予定作物及び作付面積

	作付予定作物名	作付面積（㎡）	栽植密度 （株・本・播種量(kg)/10a）	生長の指標 （樹高・分枝状況等）
１年目 (2026)	工事期間			
２年目 (2027)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
３年目 (2028)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
４年目 (2029)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
５年目 (2030)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
６年目 (2031)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
７年目 (2032)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
８年目 (2033)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
９年目 (2034)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	
10年目 (2035)	小麦	3,632	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	3,632	3.0kg	

（記載要領）

・　各年の「作付面積」の合計は、１に記載した営農型太陽光発電設備の下部の農地の面積と一致します。

・　収穫まで複数年の期間を要する作物の場合は、「生長の指標」の欄に、収穫年の予定収量のほか、収穫までの各年の生育の指標を記入してください。また、記入に当たっては、別紙様式例第４号の収穫年と整合するようにしてください。

・　連作障害等の対応のため、一時的に土壌改良等を行うことが予定されている場合は、「作付予定作物名」の欄に、当該土壌改良の具体の内容を記入してください。

（補足事項）

緑肥は小麦の連作障害防止のため、土壌改良材として使用いたします。使用品種については「シロクローバー」「ヘアリーベッチ」「セスバニア」「クロタラリア」の中から時期や環境に合ったものを選定いたします。

(2) 営農に必要な農作業の期間

月	作付予定作物名	農作業の内容											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目 (2026)	工事期間												工事期間予定 (翌年4月まで)
2年目 (2027)	小麦	工事期間予定 (前年 12 月～)					除草				耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
3年目 (2028)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
4年目 (2029)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
5年目 (2030)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
6年目 (2031)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
7年目 (2032)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
8年目 (2033)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
9年目 (2034)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			
10年目 (2035)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔 除草	すき 込み			

(記載要領)

- 作物ごとに農作業の内容欄に栽培期間と必要となる農作業の内容・その作業期間を具体的に記入してください。
- 収穫まで期間を要する作物の場合、収穫年までの各年については、(1)の生長の指標に沿って、収穫までに必要となる作業内容を具体的に記入してください。

(3) 利用する農業機械

農業機械名	数量	所有・ﾘｰｽの別 （導入予定の場合にはその旨）	寸法（cm） （全長、全幅、全高）	機械出力 （ps、kw）	備考
トラクター①	2	所有	328×170×251	54.4ps	
トラクター②	2	所有	403.5×193×257	80ps	
ロータリー①	1	所有	133×219×114.5	40～60ps 対応	アタッチメント
ロータリー②	2	所有	139×292×142.5	80～114ps 対応	アタッチメント
ブロードキャスター	1	所有	122.5×239×110		アタッチメント
溝堀機	1	所有	196×167×135	20～60ps 対応	アタッチメント
播種機	2	所有	80×18×90		アタッチメント
麦踏ローラー	2	所有	66×254×89		アタッチメント
コンバイン	3	所有	552×215×270	75.3ps	5 条刈

（記載要領）

- 機械出力・寸法については、カタログの写しの添付でも可。
- なお、許可の可否は、作付する農作物の栽培を効率的に行う上で、通常必要となる農業用機械を想定して判断することになりますので、御留意ください。

(4) 農作業に従事する者

農作業従事者数		備考
常時（人日）	臨時（人日）	
22	10	臨時従事者は基本的に雑草が繁茂する 6 月～9 月にかけて除草要員として投入いたします。

（記載要領）

- 備考欄には、臨時従事者の雇用期間及び作業内容等を記入してください。

(5) 下部の農地における単収見込み等

ア　イ以外の場合

(ｱ)（ｲ）以外の場合

作付予定作物	単収見込み（A）（kg/10a）	地域の平均的な単収（B）（kg/10a）	単収の増減見込み（A／B×100（%））	地域の平均的な単収の根拠
小麦	有機耕作　223	有機耕作　276	約 80.9%	農林水産省市町村別基本データ（R7 年度）、CropLife(元農薬工業会)の農薬を使わない場合の減収率より算出。 参照　小麦：36%

（記載要領）

- 「単収見込み」は、１年目の単収見込みを記載してください。
- 「地域の平均的な単収」は、原則として市町村の統計等を用いてください。
- 「地域の平均的な単収の根拠」は、統計調査名や比較対象とした地域等を記載ください。なお、統計調査以外の内容を記載する場合には、比較対象として適切であると判断した理由を具体的に記載してください。

（ｲ）申請に係る市町村において栽培されていない又は生産に時間を要する農作物を栽培する場合

作付予定作物	単収見込み （kg/10a）	単収の根拠

（記載要領）

・　「単収見込み」は、試験的に実施した栽培の実績に係る単収又は別紙様式例第４号２の「単収見込」を記載してください。

イ　遊休農地を再生利用する場合

作付予定作物	農地の利用の程度

（記載要領）

・　「農地の利用の程度」は、周辺の地域における農地の利用の程度と比較した利用の程度を記載してください。